

みんなでこども館をつくらう！ 建築・デザインワークショップを開催！



こども館（仮称）づくりの流れ

- ①キックオフ・フォーラム
- ②関係団体ヒアリング
- ③プレワークショップ
- ④建築デザインワークショップ
 - 第1回 知る 平成24年9月9日(日)
 - 第2回 考える 平成24年9月30日(日)
 - 第3回 描く 平成24年11月18日(日)
 - 第4回 まとめる 平成24年12月8日(土)
- ⑤展示公開型パブリック・コメント 2月
- ⑥実践子ども学レクチャー 3月

12月8日（土）、那珂川町中央公民館講堂において「那珂川町こども館（仮称）づくり第4回建築デザインワークショップ」を開催しました。今回が1回から3回まで議論した内容の総まとめになり、参加者26人による熱心な議論が最後まで続きました。

前回のワークショップで出した意見をもとに、「吹抜けホール型」の円形プラン案をまとめました。具体的な図面を見ながら、気になる点やさらに盛り込みたいアイデアなど話し合いました。

そして、こども館開館の2カ月後を想定し、多くの町民に広報するための未来ニュースを作成しました。空間を利用した魅力的な活動やイベントのアイデアがたくさん示されました。

第5回建築デザインワークショップとして、これまでの意見をまとめたプランの報告会を開催する予定です。

未来ニュースの作成



目黒先生のコメント

今日も皆さんからこども館にかける熱意と素晴らしいアイデアの連携を感じました。「まじっく」というのは住民の言葉であり、計画づくりから関わる「参画」を実現してきました。

ハードウェアが味方であると気持ちがいい空間になります。そして、ソフトウェアによって不思議な時間の流れを感じて欲しい。例えば、こども館のイベントは旧暦で行うなど、日本独自の価値観を子ども達に届ける場でありたいですね。星の観察や音楽によって子どもの中にある「宇宙」を呼び起こすことができます。それこそがこども館の使命でもあると思っています。



子どもも参加！？
 すてきなこども館の絵を描きました。

全4回のワークショップを終えて

みなさんお疲れ様でした。全4回をかけて「こども館で何をするか」という建物の基本となる部分の議論を積み重ね、平面プランが整理できました。今後はこの案をもとに基本計画・基本設計を作成いたします。

当初、ワークショップは4回で終了する予定でしたが、敷地を踏まえたプランのまとめを報告する機会を設けたいと思います。日程が決まりましたら、お知らせいたしますので、お忙しいとは思いますが、多くのお参加をお待ちしております。

お問い合わせ先 那珂川町役場 子育て支援課 TEL (092) 953-2211 (代表)

未来ニュースの作成



こども館が開館して2ヶ月経ち、那珂川町の新しいまちの魅力となっている状況を想定し、この建物の魅力を町民全体に伝え、この場所をより多くの人々に知ってもらうための未来ニュースを作っていました。

各班、模造紙に紙面の構成を考え、色々な遊びの様子や各種イベント、さまざまな空間などを記した写真やイラストを切り抜き、記事を作っていました。



プランを確認する

前回のワークショップでの意見をよみとり、「吹き抜けホール案」をまとめました。

この平面計画案をもとに、どの部屋で何が出来るか、何をしたいかをイメージしながら、プランを確認していきました。

お話し会でも使いたいなあ

空調はどうなるのかなあ

ミリカローテンとの役割分担が必要だね

このエレベーターはどのように乗降するの？

ソーラー発電やLED照明でエコな建物にしたい

床材は、部屋の用途に合わせて使い分けたらどう？

子どもの肌に触れる部分は自然素材が良いなあ

ホールの家具はどんなもの？移動式？

図書館、ミリカとの連絡路が必要だね

施設は時間帯による使い分けを考えているの？

夜間利用は？中学生も利用できるの？

上から下が見えるし、声もかけ合えるね

この屋上部分で星の観察なんてどうかな？

ガラス張りでも明るくしたいね

柱や梁など見える部分に木材を使用したいなあ

子育て支援室は1階で事務室の周りが良いね

相談の部屋に畳スペースが欲しいなあ

靴は脱いだ方が良くないかなあ？

非常階段をすべり台にできるかな？

外に砂場が欲しいなあ

それなら手洗い・足洗い場が必要だね

ウッドデッキでバーベキューをしたら楽しいね

川や橋があれば面白いなあ

子ども連れで来た時に使える売店が欲しいなあ

那珂川町（仮称）こども館施設整備 平面計画 Ga'案 121106 A1版 1/100 URBAN DESIGN CONSULTANT, INC.

ワークショップの成果

検討模造紙例